

シルバーだより
シルバーモトミヤ



謹賀新年

■発行日／平成22年1月1日

■発行所／社団法人本宮市シルバー人材センター

■住 所／本宮市本宮字太郎丸112-3

■電 話／0243-34-5226

2号

年頭あいさつ

理事長 根本 守



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、健康でよい年を迎えることをお喜び申し上げます。

さて、我が国の高齢化は、国際的にも例を見ない速さで進行しています。

平成二十七年には、四人に一人が六五歳以上となる超高齢化社会の到来が予測されております。このようなか、センター事業は、これから高齢社会に向けて、事業の継続的・安定的な運営と、地域社会に密着した活動をおこなう、会員の皆様が心身ともに健康で生きがいのある自立した人生を送ることが出来るよう事業を進めてまいります。

本年も就業にあたっては、シルバー人材センターの目的に誇りを持ち、社会奉仕と共に働く・共助で誠実に責任をもって安全就業を最優先に就業することをお願いして、年頭のあいさつといたします。

センター事業実績 平成21年4月～9月（上半期）

当センターの21年度4月から9月までの事業実績を報告いたします。

昨年と比較しますと受注件数、就業人員は、増加していますが、受注金額で減額しております。

受注先	受注件数	就業人員		受注金額			計
		延実人数	延人員	配分金	事務費	材料費等	
公共事業	64	677	3,383	17,177,315	1,565,456	99,763	18,842,534
独立行政法人	1	18	183	915,000	73,200	0	988,200
一般企業	60	399	3,125	13,607,954	1,286,264	267,970	15,162,188
個人家庭	247	710	1,519	5,603,405	487,958	491,957	6,583,320
独自事業	0	0	0	0	0	0	0
計	372	1,804	8,210	37,303,674	3,412,878	859,690	41,576,242
前年実績	307	1,637	8,179	40,847,367	3,317,795	1,021,784	45,186,946
前年対比増減	65	167	31	-3,543,693	95,083	-162,094	-3,610,704

先進地研修

委員会活動の参考のため、先進地宮城県岩沼市シルバー人材センターを訪問いたしました。

会員数三八九名 粗入会率三・五〇% 契約金額約一億四千九二三万円と当センターの二倍強の事業展開し、宮城県でも優秀なセンターでした。

特に、職群班の種類が多く都市型の受注が多く見られました。

広報は、毎月発行し、会員の意識は、自分達が運営している、すべて自分達が行うという自覚が高く感じられ相当な事務量を会員組織が現場の下見、見積り作成を班長が行うという自主の意識がしっかりと根づいておりました。

今後の会運営の在り方の原点を見させてもらい、各委員とも大変参考になりました。

理事会研修 那須烏山市シルバー人材センター 九月二十五日

二十一年度研修計画に基づき、理事会の研修会を実施しました。

先進地である、那須烏山市シルバー人材センターを訪問いたしました。

会員の入会は、二二八名 粗入会率二・一六% 配分金収入総額は、一億一千四八〇万円未収債権期間一ハ・ハ日と目を見張るほど

の活動でした。

特に、研修内容の「就業開拓」「受注業務の取扱」「刈払機の会員所有」「独自事業」等については、当センターの今後の課題では、大変参考になりかなりの成果が得られました。那須烏山市を見習い頑張つて行きたいとの理事からの意見がありました。



岩沼市シルバー人材センター3委員会合同研修 十一月二十五日

みんなの広場

馬鹿の大足とは“痛ツ”ものだ



安全適正就業委員会
委員長 佐藤勝昭（本宮第四班）

秋の色も深まってきた。
十一月初旬、友人夫婦と、二泊三日のお伊勢参りに出かけることとなり、当日の朝を迎えた、荷物を両手に持ち、体のサンダルを履き車へ、その時つまづきバッタリ。

荷物は、前方へ吹飛び何事かと自分を疑った。

ふと我にかえると足の親指に激痛が・・・・・痛い足を引きずり一路お伊勢様へ・・・・・

数日後、S.Oから封筒が届き、「安全委員会」を「安全適正就業委員会」に名称変更の通知、適正とは、価格一公定と辞書にある。そこで思ったのが体のサンダル、決して適正とは、言えない大きさ。

「適正就業」即ち作業現場の安全点検及び就業判断、これは、普通の行動にも言えること「安全」とは「適正」に勝るものはないのだ。

あれから一ヶ月、安達太良山も冬景色に替わりようやく足の痛みも和らぎ、家の玄関に居座る、あのサンダルを見る度「適正」の言葉が頭をよぎる師走の朝だ。

「みんなの広場」の原稿募集

この頁は、会員の皆さんのが投稿により、日頃思うこと、旅行紀行、俳句、川柳等自由にお使いください。

安全就業推進員として



安全就業推進員代表
菊地正光（白沢第一班）

平成二十一年も早一月、会員の皆さんも新年度に向けてゆっくり静養される事と察します。

今回、シルバーだより一号の発行にあたり、安全就業推進員として、二十一年度の反省と二十二年度に向けての目標等を述べてみたいと思います。

安全就業推進員の任を受けたのが新年度四月です。

それから今日迄無事故を願つて業務に取り組んでまいりました。特に七月の一ヶ月間は、今年度の「安全適正就業強化月間」が、全国県のシルバー人材センター連合会実施計画され、スローガンとして全国が「気のゆるみ、慣れと油断が事故のもと」であり、県は、「安全は、一人一人の心がけ」と言つものでした。

当センターも強化月間に合わせ委員会の安全会議で巡回パトロールの実施が計画され七月十七日業務部会理事と合同で安全適正就業パトロール実施し、各就業現場で会員の安全に対する意識の高揚を図りました。

大変心強く感じました。

二十一年度の人身事故件数は、四月と八月に二件発生しましたが軽傷で済みましたし九月には物損事故も一件ありましたが注意しておれば防げたと思います。

そこで、二十二年度の目標は、「事故は未然に防ぐ」を基本に全会員で細心の注意をはらい就業中は勿論のこと通勤時等も交通マナーを守つてシルバー人材センターの目標でもある事故ゼロを達成しましょう。

会員になるには

本宮市内に在住する六十歳以上で働く意欲のある健康な方なら、どなたでも会員になることができます。

* 入会の手続き

センター運営に賛同される方、隨時申込みを受付します。

* 入会承認

理事会において、入会承認の可否を審査します。

* 承認通知

理事会で入会承認後に通知いたします。

* 入会に必要なもの

・入会金	一、〇〇〇円
・会費	年額 三、〇〇〇円
・互助会費	一、〇〇〇円
・合計	五、〇〇〇円

* 預金通帳の写し

* 運転免許証の写し

* 会員登録と会員証明書の発行

会員登録し、写真付きの会員証明書を発行しますので写真を撮ります

* 仕事の提供

会員の体力・能力・希望に応じ就業を紹介し、就業していただきます。

* 配分金

働いた仕事に応じて配分金が支払われます。

* 保険・保障

会員が安心して働けるよう「シルバーパートナード」に加入します。

仕事中、出退勤のケガや仕事先の損害など補償します。

就業での自分を守る（安全就業の心構え）

センターは、安全就業対策を重要な課題として組織的に取り組んでいます。

人命尊重・事故防止・傷害事故絶滅を目指し安全適正就業委員会・安全就業推進員により、講習会の開催、安全就業パトロール等実施しています。

全国の事故発生は、過去5年間ともに5,800件と横ばい状態で発生しております。

そのうち、死亡事故も5年間53件から減少していない状況にあります。

県内も就業延人員と比例して増え、就業中の事故は、過去最悪の状態となっています。

死亡事故の主なものは、墜落・転落によるもので、安全帽、安全帯の未着装が70%を占めて、着装の徹底が重要課題と思います。

せっかく会員になって就業して傷害事故、健康傷害を受けては、何のための就業かとなります。事故による傷害で悲しむのは、家族です。

「とにかく自分の身を守る」という意識を常に持ち、安全就業を自覚して就業にあたることが大切です。

安全就業基準（シルバー人材センター安全10則） 守ろう安全就業・事故の悲劇は家族

県内のシルバーで、剪定作業中転落事故により死亡するという痛ましい事故がありました。
事故防止のため、就業にあたっては、次の安全心得を守り作業を行いましょう。

- 1 作業は、安全第一を心がけ、急いだりあわてたりしないこと。
- 2 器具類は、使用前に必ず点検すること。
- 3 服装・履物は、作業に合った動き易いものとすること。
- 4 就業前には、軽い柔軟体操等により体をほぐすこと。
- 5 加齢による諸身体機能の低下を充分認識し、無理をしないこと。
- 6 作業現場では、常に整理整頓を心がけること。
- 7 共同作業では、合図・連絡を正確に行なうこと。
- 8 自宅を出たら就業の意識を持ち、交通事故等に充分気をつけること。
- 9 常に健康に留意し、心身ともに健康な状態で就業すること。
- 10 就業の前日は、充分な睡眠を心がけること。

21年 新会員加入者名 本年4月から12月の入会会員です。

寺 鈴 渡 田 杉 熊 菅 大 遠 太 渡 佐 国 川 松 浅 小 増
村 木 辺 宮 原 谷 野 野 藤 田 辺 藤 分 名 井 沼 林 子
良 喜 代 信 君 秋 サ ト 敏 朝 勝 義 功 キ 義 道 光
生 美 智 市 代 雄 子 彦 正 士 子 雄 司 カ ノ 夫 弘 夫

本宮 第一班 本宮 第二班 本宮 第三班 本宮 第四班 本宮 第五班 本宮 第六班 本宮 第七班 本宮 第八班 本宮 第九班 本宮 第十班
本宮 第十一班 本宮 第十二班 本宮 第十三班 本宮 第十四班 本宮 第十五班 本宮 第十六班 本宮 第十七班 本宮 第十八班 本宮 第十九班 本宮 第二十班

石 三 飛 渡 伊 馬 橋 伊 高 国 永 宇 押 佐 佐 渡 保 遠
川 瓶 田 辺 東 場 本 藤 根 分 田 山 田 藤 藤 辺 科 藤
和 菊 進 貴 久 ト 忠 洋 寅 要 芳 昌 守 ヒ サ 幸 善 和 悅
枝 子 一 子 司 子 雄 子 吉 三 彦 夫 弘 工 作 晴 二 子

本宮 第一班 本宮 第二班 本宮 第三班 本宮 第四班 本宮 第五班 本宮 第六班 本宮 第七班 本宮 第八班 本宮 第九班 本宮 第十班
本宮 第十一班 本宮 第十二班 本宮 第十三班 本宮 第十四班 本宮 第十五班 本宮 第十六班 本宮 第十七班 本宮 第十八班 本宮 第十九班 本宮 第二十班

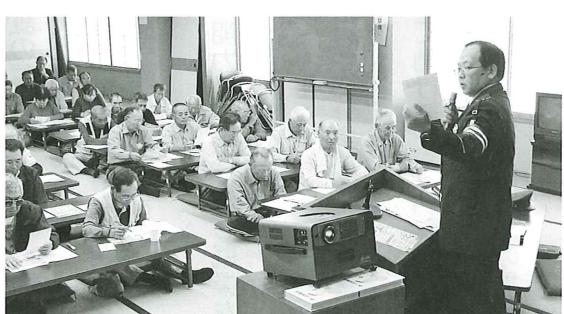
◆◆交通安全講習会 ◆◆

平成二十一年度 安全・適正就業
管理教育事業として、「交通安全講習会」を開催いたしました。

県内のシルバーでは、就業途上で交通事故は、近年横ばい状態で発生し、減少しております。

本会でも本年度二件の交通事故が発生しております。

会員の皆さん交通安全のために講習会を白沢老人福祉センターで開催し、七十七名が参加いたしました。講師には、本宮警察署地域交通課の柳澤課長さんに分かりやすく講演をいただきました。



会員互助会だより

会員互助会奉仕活動

感謝の集い

シルバー配分金にかかる確定申告

十月は、地域参加型ボランティア活動・地域環境の美化活動運動を全国シルバーが一斉に「シルバー人材センター普及啓発促進月間」として展開いたしました。

本会もこの事業に参加し、会員九二名が本宮地区は、みずいろ公園で、白沢地区は、白沢公民館でごみ拾い、草むしりの奉仕活動を行いました。秋晴れの天気に、心地良い汗をながしました。



1泊旅行

①開催日 十一月九日(月)
～十日(火)

②行き先 南三陸方面
③参加人数 会員二十四名
事務局三名
計十七名

《事務局から感想》

- 1 会員皆さんの協力のおかげで予定の時間よりスムーズに行動が出来、コースに無い所まで見学出来て大変良かった。
- 2 宿泊したことと、懇親が深められました。



①開催日 十月二十九日(木)
②行き先 日光・鬼怒川方面
③参加人数 会員二十名
事務局一名
計二十一名

《事務局から感想》

1 旅行中、地域班の本宮第1班の方々が地域懇談会の日程を話合いしていた。次の打ち合わせが出来たのは、会員融和に効果がありました。

2 和が良く、紅葉がとても美しく見えたえがあり、参加者が大変喜び楽しい旅行でした。

所得税は、毎年一月一日から十二月三十一日までの一年間に生じた所得について課税されますが、その所得金額とこれに対する税額は、納税者自らが計算し、翌年二月中旬から三月十五日までの間に申告することになります。

この申告のことを確定申告といい、シルバー人材センターの配分金（以下「配分金」といいます。）は「雑所得」として、一定額を超えるときは確定申告をしなければなりません。

なお、申告における配分金は「家内労働者等の事業所得等の所得計算」の特例が適用となり、六五万円までの必要経費が認められています。○公的年金及び配分金とも所得額でゼロの場合は、申告の必要はありません。

ただし、所得税の還付を受ける時は、申告が必要です。

次の収入以外は、所得税がゼロとなります。

公的年金収入

年齢六十五歳未満は、七十万円まで
年齢六十五歳以上は、一二〇万円まで

配分金

六五万円まで

この原稿は、市役所税務課から提供いただきまし。確定申告が必要と思われる方は、税務課にお問い合わせください。

講習会開催

剪定・樹木管理講習会

剪定、樹木手入れの技術向上のため、講習会を開催いたしました。

剪定、草刈り班以外の方も参加出来ますので、申込みしてください。

一日 時

一月二十一日（木曜日）午前十時から午後三時

二 開催場所

白沢老人福祉センター

三 講 師

阿部美敏先生

四 参加申込み期日

一月十九日まで

健康講座

会員の日々の健康管理のため、健康講座を開催いたします。

是非参加してください。

一 日 時

二月八日（月曜日）午前十時～

二 開催場所

白沢老人福祉センター

三 演 題

「会員の健康管理と介護予防」

四 講 師

室井宏育先生

南東北病院リハビリ科長補佐

安全適正就業 「標語募集」

公益社団法人への 移行申請を検討中

1 目的

二十二年度の当センターの安全標語として使用するため、会員の皆さんから安全意識の向上と安全就業のための「標語の募集」を行います。

募集対象者 会員全員

募集標語 自由といたします

募集期日 二月末日

募集用紙 理事及び各委員会代表十名

審査委員 三月中に予定

賞基準 最優秀賞 一件 図書券五千円程度

優秀賞 二件 図書券三千円程度

佳 作 五件 図書券一千円程度

表彰 五月定期総会の席上

10 使用 「安全・適正就業強化月間」

二十二年七月一日から七月三十日

【安全・適正就業強化月間】

一日に標語を使用します

（例） 全国統一
「気のゆるみ 慣れと油断が事故のもと」

県連合
「ただし、認定審査は、大変厳しい認定基準をクリアしなければなりません。しかし、その前に会員の皆さんの定款変更の承認が必要となります、今後、時期が参りましたなら総会においてお諮りますので、「公益社団法人」の移行申請に御賛同いただきたくお願いいたします。

編集後記

社団法人となり一年が過ぎようとしております、一年は、早いものと感じます。

この一年は、今までと違った会員個々の意識が「自己」「自立」の基本理念を強く肝に命じ、活動されたこと、そして各種委員会も活発に活動して新たな意見等が出され、より良い会運営になります。

従来の法人は、主務官庁の裁量権に基づき許可しており、基準にばらつきや不明確の点が多く、公益法人でありながら収益事業に力を入れ民間事業に圧迫しているケースが頻繁にみつけられました。

収益事業があれば課税対象となることを明確にするために改革されたものです。公益社団法人に認定された場合は、本事業に対しては非課税となります。

そのため、県内の社団法人のセンターは、この認定を受けるため申請を検討中です。

事務体制は、二名の職員を入れ替わり、新たな体制で業務を遂行しております、会員のためこれまで活動され、より飛躍をお願いするものです。

これからも、斬新な気持ちで、活動され、より飛躍をお願いするものです。

会員の活動と知りたい情報、皆さんのお意見等を紙面で掲載してゆきますので、皆さんからの投稿をよろしくお願いします。

職員紹介

職名	氏名	事務担当	理事会専門部会	担当委員会
事務局長	渡辺 テル子	事務総括		
業務係長	荒川 政雄	職群班の受注、安全パトロール	事業部会	安全委員会
業務主任	矢吹 一義	長期契約の受注、会員の傷害及び損害保険		安全就業推進員
管理係長	桑原 四郎一	総会・理事会、公益社団法人移行事務	普及啓発部会	広報委員会
管理主任	伊東 則子	会員福利厚生、会計経理	総務部会	研修委員会

* 広報委員会

委員会 委員長 菊地 次雄
委員 副委員長 遠藤 戸志雄
委員 室井 安啓雄
委員 藤井 正雄
委員 安藤 子雄
委員 力雄



古紙配合用100%再生紙を使用しています。